

# 大勢で夕飯温まるね

## 「こども食堂」オープン

あわら

子どもたちに温かい食事や友達との交流の場を提供する「こども食堂」が22日夜、あわら市田中々のあわら敬愛こども園でオープンした。子どもたちが大人と一緒に愛情たっぷりの夕食を楽しんだ。月2回開いていく。

市内外の管理栄養士らでつくる市民団体が、子どもの孤食などの社会問題を受けて運営する。この日は市内の小学1年～高校1年の男女と保護者計約10人が訪れた。同団体の代表で管理栄養士の志田尚美さん(31)「あわら市」と、山崎佳子さん(54)「福井市」が献立を考えた。ボランティアと午後4時半ごろから調理を始め、子どもたちも配膳を手伝った。

この日のメニューは納豆やツナ缶などの手巻きずしや天ぷら、フルーツの盛り合わせなど。市内外の農家から提供されたホウレンソウやゴボウなども使用した。並んだ食事に子どもたちは「早く食べたい」などと目を輝かせた。午後7時ごろ、みんなで「いただきます」。子どもたち



「おいしい」と笑顔。みなから温かい食卓を囲んで箸を進め、会話も楽しんだ。食事の前後にはトランプなどで遊んで交流を深めていた。

毎月第2、4金曜の午後4～8時(こどもオープン。18歳以下とその保護者が対象で、一食300円。予約制だが当日も受け付ける。問い合わせは同団体☎090(6270)6474。(児島崇之)

子どもと大人と一緒に食卓を囲んだ「こども食堂」22日夜、あわら市田中々のあわら敬愛こども園